

LEADER'S MESSAGE toward YOUNG PEOPLE

男女平等を永遠のテーマとしてはいけない

私は18歳から社会に出て働いてきました。それはキャリアを積むためではなく、生活のため、家族のために他なりません。経理などの事務仕事を地道に続けてきました。その中で結婚、出産、離婚を経験して思うことは、今の日本の現状では仕事上の男女平等は成り立っていないということだと思います。例えば子どもが不意に熱を出してしまうケースは日常の一部ですが、保育園から電話がかかってきたとして、一体どれだけの男性がお迎えに行けるのでしょうか。パートナーの男性がいればまだしも、シングルマザーの方であれば大きな負担となってしまうこともあるのです。現代の女性にとって働くとは、常に「仕事or子ども」という二者択一に迫られている状況と言っても過言ではありません。これはあまりにも悲しい現実であり、真剣に取り組まなければいけない社会課題なのです。

私は縁あって株式会社Realizeの代表に就任し、賃貸住宅の入居前点検、鍵交換を主な事業としてきました。特殊技術を要するので容易な業務ではありませんが、一度覚えてしまえばスキマ時間で言うことができ、時間の融通も効きます。そして生活を成り立たせるだけの収入が得られる仕事として社員の成長を支えてきました。

事業のスタートは九州の母親たちが発端となり、それから全国へと広がっていったのですが、主に活用したのは母親たちのネットワークです。知り合いから知り合いへと「地域の母親たち」が事業に参加していただくことで、信頼できる働き手を見つけることができました。また賃貸住宅の点検や鍵交換を女性が行うことは、入居者の方々にとっても安心感に繋がります。相乗効果を生んでいます。

中でも女性たちと働き続けてきて感じるものが2つあります。1つ目は女性にとっても世間はさほど重要ではなく、それよりも働き続けられることが大事だということ。2つ目は女性の方は時間の使い方が上手いということ。時間の使い方に限っては女性に分があると私自身も肌で感じてきました。こうした女性ならではの特性を理解しながら、住宅設備だけでなく新たな事業も進めていきたいと思います。

弊社にもシングルマザーとして働いている方が数多く在籍しています。そんな彼女たちを見て、晩飯の用意は大丈夫かな、などと心配になったりします。例えば毎日仕事に行くのではなく、週に2日働いて、あとは家のことに専念できる、そんな環境があれば女性はもっと自由に生きられるのではないかと考えています。

いずれにせよ、日本は母親に対する公的な制度や支援が不足していると感じています。働いていたら結婚も出産もできない、若い方にこう思わせてしまう現状は本当に変えていかなければなりません。男女均等を永遠のテーマではなく、解決可能なテーマとして、これからも活動していきたいと思っています。

株式会社 Realize

<https://www.realize2022.jp/company/>

本社所在地 / 神奈川県横浜市青葉区みたけ台15-19 資本金 / 5,000万円
従業員 / グループ120名 事業内容 / 女性推進・地域密着事業、資格・技術サポート事業、アプリ販売・運用サポート事業

46

NOMINATE



株式会社 Realize
代表取締役

池田 礼子

PERSONAL DATA | 生年:1972年 / 趣味:身体を動かす / 座右の銘:急がば回れ / 尊敬する人物:母

45

NOMINATE



株式会社 IDOM
名誉会長

羽鳥 兼市

PERSONAL DATA | 生年:1940年 / 趣味:マラソン / 座右の銘:他人がどう思うかではない、自分がどう生きたか / 尊敬する人物:社員

LEADER'S MESSAGE toward YOUNG PEOPLE

傍観者でいたら何も生まれない

自動車流通業は100年に一度の大変革期を迎えています。あと10年もすれば販売する車の大半が電気自動車に移り変わり、レベル5の完全自動運転になれば運転免許が不要になる可能性があるのであるでしょう。

世界中で今、走行中の自動車は12億台と言われていますが、それを取り巻く環境が近い将来、飛躍的に変わっていくところなのです。

もともと私が創業したきっかけは、当時信頼性が低かった中古車を、お客様に信頼され安心して利用される価値のある商品として、より多くの方に提供することでした。その思いは現在でも変わりありません。

社屋は福岡の田舎の小さな小屋、従業員は私を含めて2人だけでした。それでも社名に「インターナショナル」と入れたのは、いつかは世界進出をしようと決めていたからです。周囲は冷ややかな反応ばかりでしたが、決して思いは揺るぎませんでした。

目標を達成していくためには、外に向けて発信し続けることが大切です。「こうなりたい」ではなく、「こうなるんだ」と言い続けると、素晴らしい人達や有益な情報が集まってくるものです。会社設立時、5年以内に500店舗を目指すと言った時も、最初は笑われましたが本気で発信し続けました。単に頑張るのではなく、無我夢中で仕事に取り組むことで周囲が次第に耳を傾け、協力

してくれるようになっていったのです。

その後、4年9カ月で500店舗を達成。目標に到達することができたのも、今では世界各地にネットワークを広げることができたのも、その自身の思いを積極的に発信し続けてきたことが一つの要因になったと思っています。

私の故郷には猪苗代湖という湖がありますが、湖面をジェットスキーで走ると、広い湖が自分のものになったような感じがして気分は爽快です。対して、浜辺でそれを見ているだけの人たちがいます。彼らは湖面を走る爽快感を知りません。

そのように、仕事でも遊びでも、ただ傍観者でいるだけでは新たな景色や感動も生まれません。何事も自分で行動して初めて、その本質に触れることができると思うからです。

当社は2016年にガリバーの名前を店名として残し、社名をIDOMに変更しました。社内公募で決めた名称で、これには全力で挑戦するという意味が込められています。

同じく社員のみんなには挑戦し続ける心を忘れてほしくありませんし、一大転換期を迎える自動車流通業界を引っ張っていく気概で仕事に臨んでほしいと思っています。そして若い人達も同様に、夢と一緒に持てる人は何人でも加わっていただきたい。新時代へ向けてみんなで挑み、行動を起こし続けていきたいと思います。

株式会社 IDOM

<https://www.idom-inc.com/>

本社所在地 / 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー26F 資本金 / 41億5,702万円 (2023年2月28日時点)
従業員(連結) / 3,132名 (2023年2月28日時点) 事業内容 / 自動車の売買事業、自動車の販売事業、その他自動車流通に関わる事業